令和7年度　飯塚市事務事業評価シート

令和　8　年　6　月　3　日　作成

事務事業名	中学校文化体育活動補助金交付事業	事務事業No.	512 - 5

1．基本情報

担当部	担当課	担当係	作成者職名	作成者氏名	所属長職名	所属長氏名
教育部	教育総務課	学事係	主任	麻生　望	課長	梶原　康治

施策体系				
総合計画	政　策	5	教育・文化
	施　策	1	人権を尊重する豊かな心・健やかな体を育む教育の推進
	基本事業	2	体力向上と健康増進の推進
その他の計画	個別計画		なし

根拠法令・条例・要綱等	飯塚市立中学校文化体育大会出場費補助金交付要綱				
事業開始年度	把握していない	事業終了年度	未定	事務事業類型	義務的事業（市に裁量の余地がないもの）
実施手法	全部直営	補助金等の支給	補助金等あり	実施計画期間	なし

2．事務事業の概要及び目的（決算成果説明書と連動）

概要		飯塚市立中学校の文化部及び運動部の活動を振興するとともに、部活動に参加する生徒の育成強化を促進することを目的として、生徒が文化及び体育大会に参加するために要する経費の一部を補助するもの。
対象	働きかける相手・もの	飯塚市立中学校に在籍し、補助金交付要綱に規定する大会に出場する生徒。
手段	方法・働きかけ（活動指標）	生徒が文化及び体育大会に出場するため、在籍する中学校長から補助金交付申請を受け、内容が補助金交付要綱に合致しているかを審査のうえ、交付決定する。
意図	対象をどのようにしたいか（成果指標）	大会出場に要する経費の一部を補助し、生徒の負担を軽減することにより部活動が振興するとともに生徒の育成強化を促進する。

3．活動指標（決算成果説明書と連動）

指標名	単位	指標の説明（算式等）	前年度実績	本年度実績	次年度見込
大会出場件数	件	申請件数	235	205	210

4．成果指標（決算成果説明書と連動）

指標	交付決定率	単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込
		%	100	目標値	100	100	100
説明	交付決定件数／交付申請件数	方向性	達成目標年度	実　績	100	100	
		維持	毎年度				
指標	補助金の支払い	単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込
		%	100	目標値	100	100	100
説明	支払い期限内に補助金を支払った割合	方向性	達成目標年度	実　績	100	100	
		維持	毎年度				
指標		単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込
				目標値			
説明		方向性	達成目標年度	実　績			

5．事務事業実施にかかるコスト（決算成果説明書と連動）

経費区分	一般会計	義務的経費	特別会計	－
予算科目・事業	会計 1 一般会計	款 10 教育費	項 3 中学校費	目 2 教育振興費
	大 99 その他の教育振興費	中 35 中学校文化体育活動費補助金交付事業義費【義務】	他 0 事業	

投入人員（当該事務事業に対して１年間に投入した人員）		(R2以降)	前年度実績（千円）			本年度実績（千円）			増減理由（10%以上の場合）	次年度予算（千円）		
		正職員	0.21	人	1,711	0.20	人	1,699		0.20	人	1,699
		任期付職員(保育士)	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
		任期付職員(子ども家庭支援員)	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
		任期付職員(CW・水質)	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
		再任用フル	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
		再任用短	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	会計年度	1級フル	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	会計年度	1級パート	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	会計年度	2級パート	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
人件費計（A）			1,711			1,699			－	1,699		
事業費	直接事業費（B）		8,881			8,570				7,389		
事業費	総事業費（A＋B）		10,592			10,269				9,088		
直接事業費のうちの主な歳出内訳	補助金		8,881			8,570				7,389		
	－		0			0				0		
財源内訳	使用料・手数料（受益者負担分）		0			0				0		
財源内訳	国・県支出金		0			0				0		
財源内訳	市債		0			0				0		
財源内訳	一般財源		10,592			10,269				9,088		
財源内訳	その他（　　）											

6．事務事業の事後評価★

評価視点	評価	評価の理由、または認識している課題を記載
妥当性評価	高い	補助金交付事務は民間委託できない。 部活動生の筑豊大会以上への大会出場を補助対象としており、飯塚市立中学校の部活動の振興のために貢献できている。
効率性評価	高い	平成26年度からの補助金交付要綱を見直し、利便性の向上や省力化を図っており、これ以上の余地はない。 大会出場に要する経費の一部を補助することにより、保護者の負担軽減をすることができた。 必要最低限の補助金を交付し、交付要綱に規定する以外の経費については受益者負担としているため、適正である。
有効性評価	高い	文化部及び体育部の振興と生徒の育成強化を促進することができた。 県外等の遠方で開催される大会に出場するときの交通費（急行料金を含む）、バス等車両借上げ料、宿泊費等の保護者負担は大きいため、活躍する部活動の支援のため事業継続は有効である。

7．前年度評価時の計画と実績

前年度評価★		前年度記載した改善策（課題解決や改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★	
評価区分	成果の方向性	次年度以降にコスト（人・予算等）を必要とせず、ただちに実施できる改善策	-
一次評価	現状維持		
	コストの方向性	次年度以降にコスト（人・予算等）を必要とし、中長期的に実施する改善策	-
	現状維持		

前年度改善策に対する実績　★　　※上記の改善策に対して今年度に実施できたこと、などを記入

-

8．今年度評価における成果と課題（決算成果説明書と連動）★

【成果】 中学校の部活動の大会出場に要する経費の一部を補助することにより、保護者の負担軽減と部活動の振興及び生徒の育成強化の促進に寄与した。

【課題】 成績により上位への大会出場が予測できず、大会会場もその都度異なるため、予算編成に苦慮している。
部活動の地域移行検討により、今後は部活動の在り方が大きく変化する可能性がある。

9.今後の事業の方向性と改善策

成果の方向性	【理由】
現状維持	飯塚市立中学校の部活動の振興のために貢献できている。 文化及び体育の部活動の振興と生徒の育成強化の促進に寄与できた。
コスト投入の方向性	【理由】
現状維持	成績優秀により、上位大会（九州大会・全国大会）へ出場する部活動が増加してきているため、交通費、宿泊費等が増加している。

次年度以降の改善策（課題解決や改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★	
コスト（人・予算等）を必要とせず、ただちに実施できる改善策	-
コスト（人・予算等）を必要とし、中長期的に実施する改善策	部活動地域移行後は、個人ではなく団体に対して大会参加補助を助成する意向である。その意味においては本制度は事業終了となるものであるが、補助の目的や予算について、新たなる枠組みにおいて継続するものであると考える。

2次評価 （最終評価）	**成果の方向性** 現状維持	上位大会への出場機会が広がるなか、生徒の活動を後押しし、保護者の負担軽減にも資するものとしての役割を担っており、成果については現状維持としていくことが望ましいと考えられる。
	コスト投入の方向性 縮小	物価高騰のもとで交通費・宿泊費は増加傾向にあり、10分の10の補助を続ける現行の枠組みのままでは、市の負担が今後も膨らんでいくことが見込まれることなどから、コスト投入の方向性としては、負担のあり方を見直すことを前提とした縮小とする。具体的には、近隣大会の交通費など圧縮しやすい部分の見直しを進めるとともに、県内他自治体の補助水準の調査等を通じて、市が負担する範囲についての考え方を整理し、コストの圧縮を図っていく必要があると考える。